



美味しい顔！

海の幸を堪能『美味しい顔！』がいっぱい

～ 第15回さかた「港」海の幸まつり～

7月30日、道の駅象潟「ねむの丘」を会場に、「第15回さかた『港』海の幸まつり」が開催されました。地元産の天然岩ガキやアワビなど、夏の海産物が盛りだくさんとあって、約3,300名の観光客や市民が訪れ、海の幸を堪能しました。

去年は天候に悩まされ、水揚げが少なかった岩ガキは「今年は、貝は大きい海水温が低いせいの中身は小ぶり」とのこと。それでも1箱4,000円（10コ入り）の岩ガキ直売には行列ができ、会場のバーベキューコーナーでは『美味しい顔！』がたくさん見られました。

岩ガキがズラリ！



夏休み、磯で親子のふれあい

～ 水と緑の親子観察会～

夏休みに、親子で自然の動植物に触れてもらおうと、7月30日、水と緑の親子観察会が行われました。

県自然観察指導員連絡協議会の由利本荘・にかほ支部が主催。9組27名の親子が、道の駅・ねむの丘裏の磯浜で、ヤドカリや海藻、貝類など海の動植物を採集し、その生態を指導員たちから学びました。エゲシとニガダマの味噌汁も用意され、磯の香りたっぷりの昼食を楽しみました。

この観察会は10年以上も続いており、主催者側では「来年は山でも実施したい」と意欲的でした。



何が獲れた？

石の陰で何か動いたっ

元気なときこそ『がん検診』

～ がん検診推進巡回キャラバン～

8月1日、秋田県のがん検診推進巡回キャラバンが象潟庁舎を訪問しました。

県内では、がんでの死亡率が年々増加。3人に1人が、がんが原因で死亡しています。また、検診を受けなかった理由として、「必要なときはいつでも医療機関で受診できるから」と多くの人が回答していることに、「がんは早期発見が原則。自覚症状が出てからでは遅い。健康なうちに、がん検診を受けてほしい」などの意見が交わされました。庁舎ロビーでは、同キャラバンの皆さんが、がん検診受診を呼び掛けました。



がん検診受診率向上について意見を交わす

高速道路は、まさに『命の道』

～ 日本海3県地域連携フォーラム～

7月30日、ガーデンパレスみずほ（酒田市）で「日本海3県地域連携フォーラム～酒田港と日沿道がつくる日本の未来フォーラムⅡ～」が開催されました。

約400名が参加し、秋田、山形、新潟の関係者8名によるパネルディスカッションでは、秋田県から横山市長とTDK(株)取締役常務執行役員の荒谷真一氏が登壇。市長は「高度医療施設への緊急搬送は、救命率の向上、後遺症の軽減につながる。高速道路はまさに命の道。早期実現を目指し要望していく」と発言。地域、行政、企業の視点から、多角的な意見が交わされました。



3県の関係者によるパネルディスカッション

川袋、院内が全県大会へ

～ 本荘由利支部消防操法代表選考会～

7月23日、秋田県消防協会本荘由利支部の消防操法代表選考会が、市消防庁舎前で行われました。

2週前に行われた市の大会を勝ち抜いた、小型ポンプ操法の第3分団第2部1班（川袋）、ポンプ車操法の第6分団第1部1班（院内）が出場し、いずれも全県大会出場を勝ち取りました。暑い日差しの中、市民による応援を受け、両出場隊とも練習の成果を発揮し、動作俊敏、正確、確実との評価でした。

全県大会は9月8日(木)、秋田県消防学校（由利本荘市岩城）で開催。健闘を祈ります。



第3分団第2部1班（川袋）



第6分団第1部1班（院内）

本を楽しむきっかけに

～ 本と遊ぼう：全国訪問おはなし隊～

7月23日、象潟構造改善センターを講談社「全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーが訪問しました。本に親しみ楽しむきっかけ作りにと、平成11年にスタート。にかほ市には3回目の訪問でした。

参加した子どもたちは、キャラバンカーに展示された約550冊の児童書から自由に本を選んで、お母さんやお父さんと楽しそうに読んでいました。同時に行われた「おはなし会」では、隊長の新藤優子さんと朗読ボランティアの皆さんが絵本や紙芝居を読み聞かせ。子どもたちは、本の世界に聞き入っているようすでした。



たくさんの絵本を積んだキャラバンカー